

阿南市の先覚者たち

第17回

郷土の偉人を紹介するために、平成26年阿南市文化協会から「阿南市の先覚者たち第1・2集」が刊行されました。

阿南市の発展に尽力された人たちの偉業を顕彰し、後世に語り継ぐために、27人の先覚者たちを奇数月に掲載して紹介します。

学者

熊野 正平 氏

熊野は明治31年（1898）富岡町に生まれた。大正6年（1917）旧制富岡中学校を卒業後、日本の文化国策機関である上海の東亜同文書院商務科に入学し、卒業後は三菱商事に就職していたが大正11年（1922）に同文書院助教に迎えられた。昭和17年（1942）に帰国、東京商科大学専門部教授（後、一橋大学）となり、戦後に同学の社会学部中国社会学論の教授となった。昭和37年（1962）大学定年後は外務省の顧問を務め、中国の要人との交渉にも通訳として活躍した。そして昭和51年（1976）には勲三等旭日中授章を授与。昭和57年（1982）に死去した。

学者

竹治 貞夫 氏

熊野正平は清末の政治思想に関する論文を多数執筆しているが、中国語教育や中国情勢についての書籍も刊行している。中でもその没後に刊行された「熊野中国語大辞典」（1984）は、東亜同文書院の残した語彙カードを基に編さんしたものであり、高い評価を得ている。阿南市立那賀川図書館には平成10年（1998）から熊野正平先生誕生100年を記念して「熊野正平先生顕彰コーナー」が設けられている。

竹治は大正8年（1919）、羽ノ浦町古毛に生まれた。広島大学卒業後、徳島大学助教授を経て、昭和41年（1966）同大学教育学部教授に就任。竹治は漢文科の教授として、阿波の儒学者たちの業績について精力的な研究を続けた。論文「近世阿波の漢学」では、島津華山などの阿波の代表的な儒学者たちの生涯・学問・遺書について述べている。これらの業績は阿波の儒学者を研究する上で不可欠の基本資料であるが、竹治がまとめるまでこれまで誰もなしえなかったものである。竹治は卓越した漢文の学識をもって、阿波関係の漢文資料を解説。それにわ

かりやすい注釈を入れ、儒学研究の基礎資料を提供したのである。竹治最大の功績は正統的な漢文研究を地域研究に結びつけた点である。なお、昭和53年（1978）に出版された「楚辞研究」は国内のみならず中国の学会でも高く評価された。さらに竹治は漢文を通して郷土の歴史研究、特に阿波公方研究に力をそそいだ。「阿波公方の『阿波退去日記』その他」がそれである。

最後に竹治が生まれ育った羽ノ浦町を讃え作した「羽ノ浦町の讃」を紹介する。

古今治水固堤防
天恵人営宏圃場
和協厚生風俗美
山南川北祐豊郷

この詩は情報文化センター入口に詩碑として建っている。享年78歳。

参考資料

「阿南市の先覚者たち 第1集」
2014・阿南市文化協会
「阿南市の先覚者たち 第2集」
2014・阿南市文化協会

☆次回（7月号）は「貴名松翁」、「中西小十郎」を紹介します。

問い合わせ

文化振興課 ☎22-1798

0歳から楽しめる ファミリーコンサート

ご家族でお楽しみください！

日時 5月11日(日)
14:00～15:30（予定）（開場 13:30）
場所 コスモホール（情報文化センター）
出演 木管五重奏＋歌
鈴江早都子（フルート）、井手端 聡（クラリネット）、大西千奈（オーボエ）、佐々木加奈（ホルン）、興梠智彦（ファゴット）、山本綾子（ソプラノ）
プログラム
第1部 楽器紹介～じゅんばん協奏曲、楽器クイズ～
楽器に触れてみよう、音楽とお話＋絵「サウ

ンド・オブ・ミュージック」
第2部 一緒にリズム遊び～子犬のビンゴ・ぼよん
行進曲、糸・ハナミズキ・ケセラセラ・トル
コ行進曲
※当日演奏曲、演奏順を変更する場合があります。
入場料 シングル 1,000円（当日 1,500円）
ペア 1,800円（前売りのみ）
※中学生以上は同額
※0歳から小学6年生まで無料

問い合わせ NPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん ☎23-5599